

八潮市旧庁舎解体工事説明会における質疑応答

	質 問	回 答
1	旧庁舎ではアスベストはどの程度使用されているのか。	旧庁舎は約50年前に建設されており、この時代の建物のほとんどはアスベストを使用している。アスベストの飛散危険性には3段階あり、最も危険なレベル1は旧庁舎には使用されていない。レベル2及び3については各所に使用されているため、関係法令に基づき、適正な方法で処分する。
2	八潮メセナ前に工事車両のゲートを設けるとのことだが、1日あたり何台程度の工事車両が通行するのか。	躯体のコンクリートを撤去している時期になると、1日あたり20～30台程度のダンプカーが通行する見込みである。
3	浄水場通りを通行する工事車両に付着した土や泥が道路に流出する可能性があり、それが乾燥すると飛散するおそれがある。何か対策は考えているか。	工事車両が現場から出る際には、タイヤ等を水で洗い流すこととしている。また、本現場から道路に土や泥が流出してしまった場合には、責任をもって清掃等の対応をする。
4	新庁舎建設工事の際には、振動や騒音で悩まされた。測定値をリアルタイムで確認できるように、ホームページに掲載するといった予定はあるか。	リアルタイムの測定値をホームページから確認できるような仕組みを導入する予定はないが、記録した測定値を後日まとめてホームページに掲載するといった対応は可能かと思うので、検討のうえ対応する。
5	大規模な工事で振動等が発生すると、ネズミが周辺の建物に移動するといった話を聞いたことがある。何か考えられる対策はあるか。	工事でどこまで対応できるかは分からないが、ネズミが発生するような状況があれば、可能な範囲での対応を検討する。